

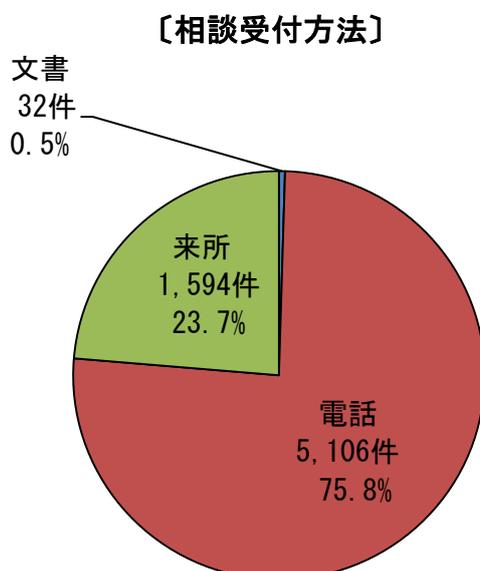
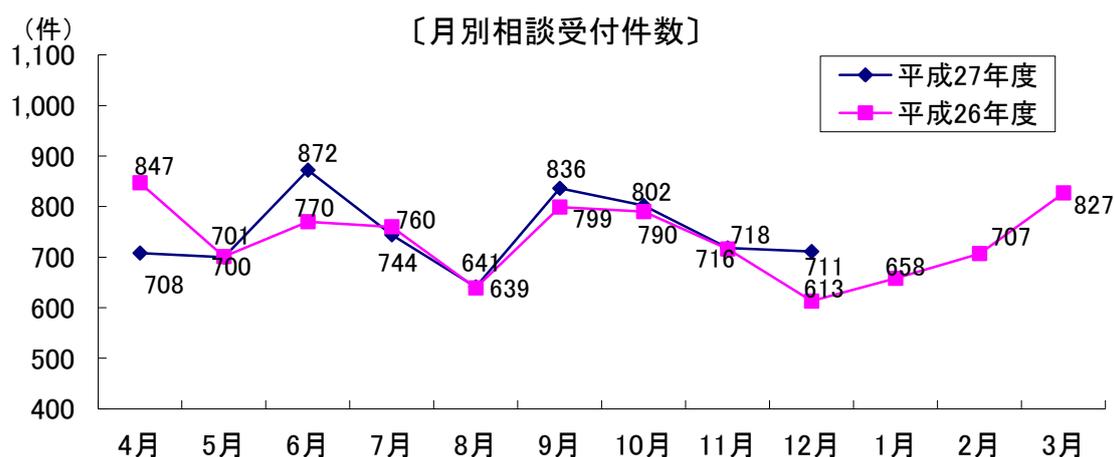
平成 27 年 4 - 12 月青森県内の消費生活相談状況

1 平成 27 年 4 - 12 月の状況

(1) 相談受付状況

平成 27 年 4 - 12 月に県内の消費生活相談窓口で受け付けた消費生活に関する相談件数は、6,732 件（苦情 5,798 件、問合せ 934 件）であり、前年度と比較して、97 件（1.5%）増加しています。（単位：件）

項目 \ 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
苦 情	5,798	5,612	186 (3.3%)
問 合 せ	934	1,023	▲89 (▲8.7%)
計	6,732	6,635	97 (1.5%)

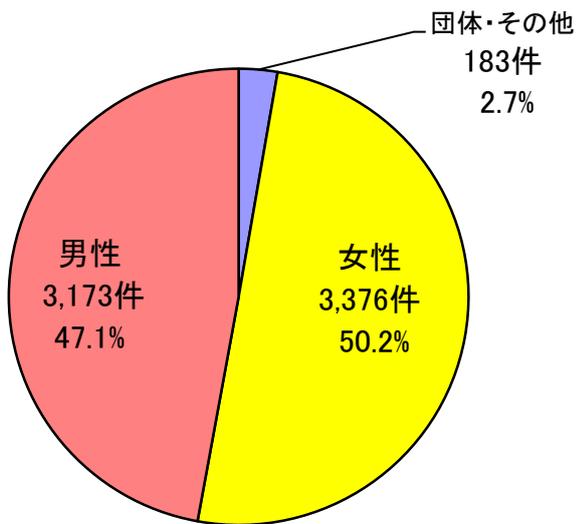


(2) 契約当事者の状況

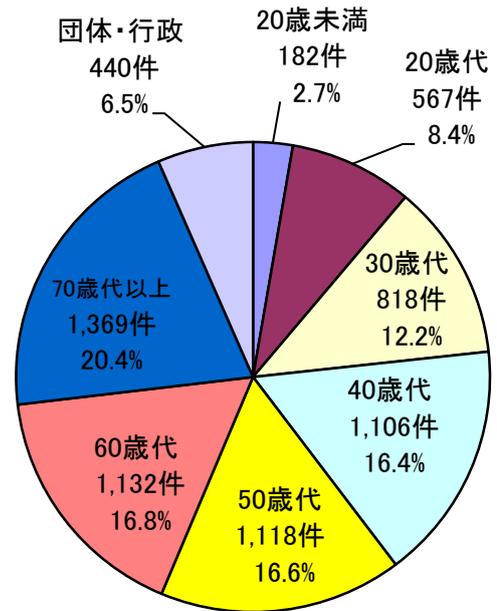
契約当事者を性別で見ると、女性が3,376件で、全体の50.2%を占めています。年代別では、70歳代以上が1,369件(20.4%)と最も多く、次いで60歳代が1,132件(16.8%)となっています。

また、契約当事者を職業別で見ると、給与生活者が2,576件(38.2%)と最も多く、次いで無職が2,057件(30.6%)となっています。

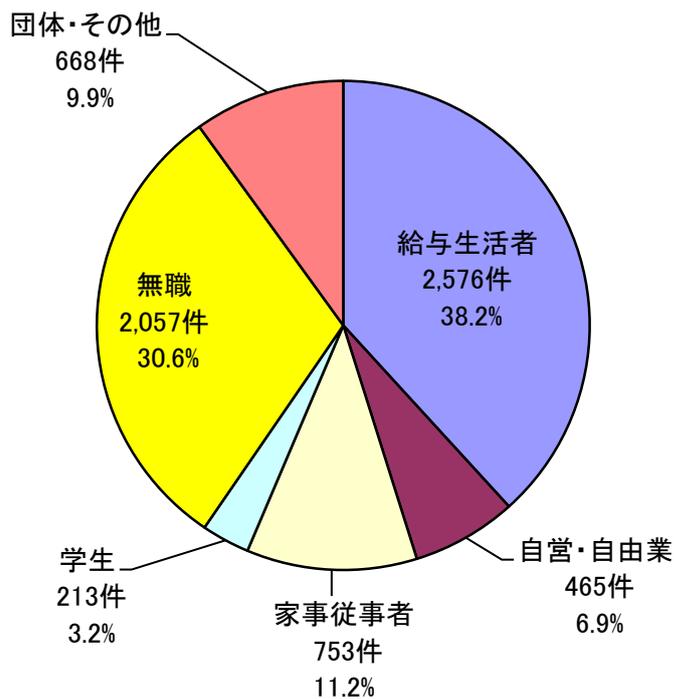
〔契約当事者の性別〕



〔契約当事者の年代〕



〔契約当事者の職業〕



(3) 主な商品・役務別の相談件数・内容

(単位：件)

	商品・役務名	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
1	運輸・通信サービス	2,146	1,711	435 (25.4%)
2	金融・保険サービス	786	918	▲132 (▲14.4%)
3	商品一般	446	483	▲37 (▲7.7%)
4	教養娯楽品	326	324	2 (0.6%)
5	食料品	324	287	37 (12.9%)
	その他	2,704	2,912	▲208 (▲7.1%)
	計	6,732	6,635	97 (1.5%)

1. 「運輸・通信サービス」 平成 27 年 4－12 月の相談件数は 2,146 件で、前年同期より 435 件増加しています。相談別にみると、アダルト情報サイト、出会い系サイトなどの放送・コンテンツに関する相談の 1,357 件（相談件数の 63.2%）が最も多く、次いで光ファイバー、インターネット接続回線などのインターネット通信サービスに関する相談 533 件（同 24.8%）となっています。

2. 「金融・保険サービス」 平成 27 年 4－12 月の相談件数は 786 件で、前年同期より 132 件減少しています。相談別にみると、融資サービスに関する相談の 532 件（相談件数の 67.7%）が最も多く、次いで生命保険に関する相談 66 件（同 8.4%）となっています。

3. 「商品一般」 平成 27 年 4－12 月の相談件数は 446 件で、前年同期より 37 件減少しています。「商品一般」には、商品を特定できない相談や商品が多岐にわたる相談が分類されますが、不審な電話やメールなどの信用性を尋ねる相談が 124 件（相談件数の 27.8%）となっています。

4. 「教養娯楽品」 平成 27 年 4－12 月の相談件数は 326 件で、前年同期より 2 件増加しています。相談別にみると、新聞などの書籍・印刷物に関する相談の 66 件（相談件数の 20.2%）が最も多く、次いでパソコンやモバイル専用端末機器などに関する相談を含むパソコン・パソコン関連用品に関する相談の 50 件（同 15.3%）となっています。

5. 「食料品」 平成 27 年 4－12 月の相談件数は 324 件で、前年同期より 37 件増加しています。相談別にみると、健康食品に関する相談の 143 件（相談件数の 44.1%）が最も多く、次いでカニなどの魚介類の強引な電話勧誘に関する相談の 44 件（同 13.6%）となっています。



2 平成 27 年 4 - 12 月の特徴

(1) 特殊詐欺に関する相談受付状況

ア 相談受付件数

平成 27 年 4 - 12 月の相談件数は 1,481 件で、前年同期と比べると 1 件 (▲0.1%) 減少しました。類型別にみると、振り込め詐欺の 745 件 (相談件数の 50.3%) が最も多く、次いでワンクリック詐欺の 548 件 (同 37.0%) となっています。(単位: 件)

年 度	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
類 型	4 - 12 月	4 - 12 月	
振り込め詐欺	745	555	190 (▲ 34.2%)
ワンクリック詐欺	548	600	▲52 (▲ 8.7%)
金融商品取引名目詐欺	137	266	▲129 (▲48.5%)
異性との交際あっせん名目詐欺	47	50	▲3 (▲ 6.0%)
その他の名目詐欺 (宝くじ)	2	7	▲5 (▲71.4%)
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺	2	4	▲2 (▲50.0%)
合 計	1,481	1,482	▲1 (▲ 0.1%)

イ 既払金額

平成 27 年 4 - 12 月における特殊詐欺の既払額等の状況をみると、お金を支払った人の数、既払金の合計額は前年同期より減少しています。また、一人当たりの平均既払い額も大幅に減少しています。

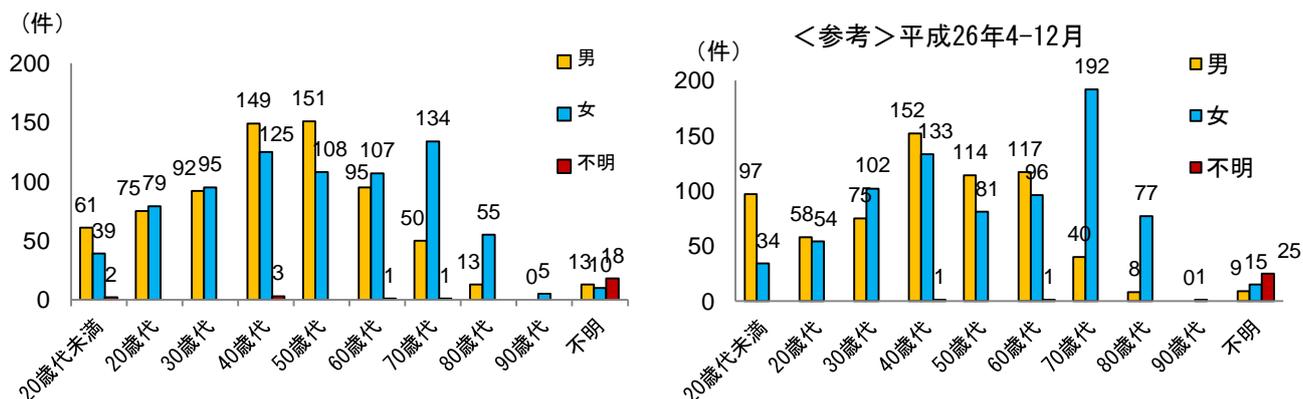
(単位: 千円)

年 度	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
	4 - 12 月	4 - 12 月	
お金を支払った人の数	66 人	68 人	▲2 人 (▲2.9%)
既払金額合計	55,437	162,221	▲106,784 (▲65.8%)
平均既払金額 (一人当たり)	827	2,386	▲1,559 (▲65.3%)
最大既払額	7,700	49,000	▲41,300 (▲84.3%)

ウ 契約当事者の年代および性別

(ア) 特殊詐欺全体

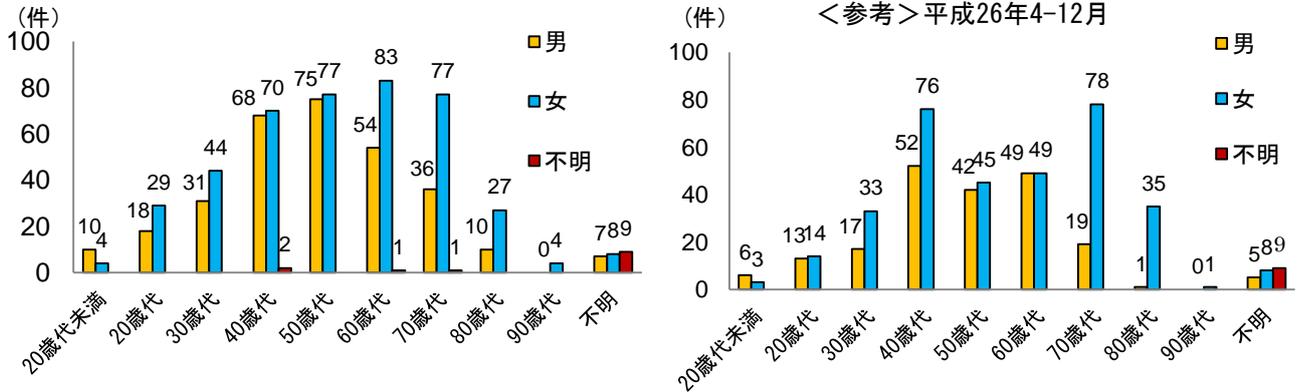
平成 27 年 4 - 12 月における特殊詐欺全体の契約当事者を年代・性別でみると、50 歳代男性の 151 件が最も多く、次いで 40 歳代男性の 149 件、70 歳代女性の 134 件となっています。



(イ) 詐欺の類型別上位 契約当事者の年代および性別

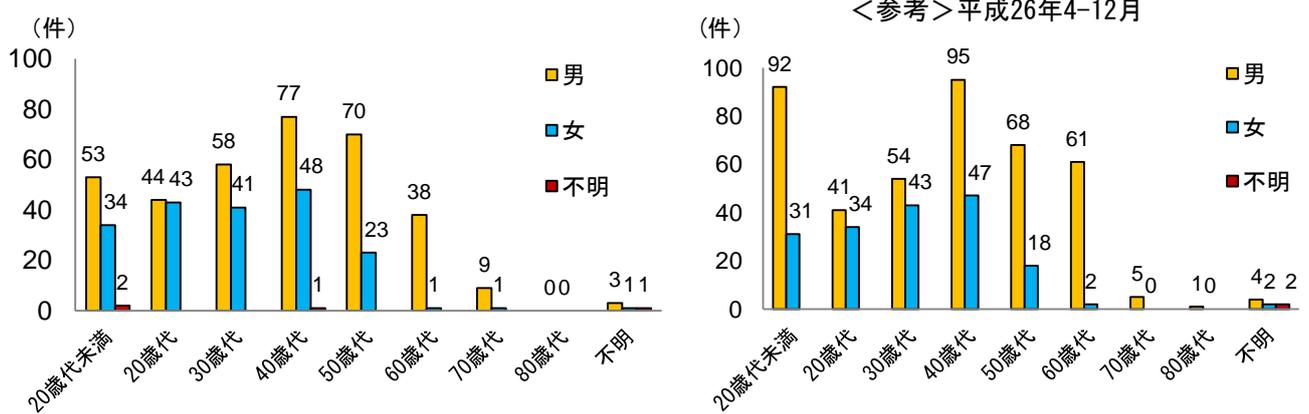
a 振り込め詐欺

振り込め詐欺の契約当事者を年代・性別で見ると、60歳代の女性の83件が最も多く、次いで70歳代女性、50歳代女性がそれぞれ77件となっています。



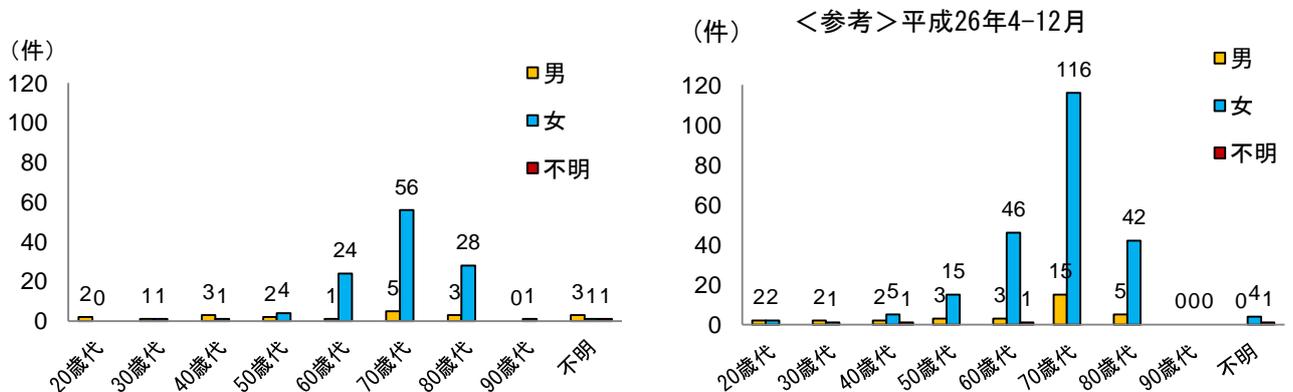
b ワンクリック詐欺

ワンクリック詐欺の契約当事者を年代・性別で見ると、40歳代男性の77件が最も多く、次いで50歳代男性の70件となっています。男性352件に対し女性192件で、男性が全体の64.2%を占めています。



c 金融商品取引名目詐欺

金融商品取引名目詐欺の契約当事者を年代・性別で見ると、70歳代の女性の56件が最も多く、次いで80歳代女性の28件となっています。



エ 振り込め詐欺に関する相談

平成27年4-12月における振り込め詐欺の相談件数は745件で、前年同期より190件増加しています。相談別にみると、架空請求詐欺に関する相談の650件（相談件数の87.2%）が最も多く、次いで還付金詐欺に関する相談の91件（相談件数の12.2%）となっています。

（単位：件）

	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	合計
平成27年 4-12月	2	650	2	91	745
平成26年 4-12月	0	520	6	29	555
増減	2 (-)	130 (25.0%)	▲4 (▲66.7%)	62 (213.8%)	190 (34.2%)

(2) インターネット通信サービスに関する相談の増加

ア 相談受付状況

平成27年4-12月におけるインターネット通信サービスに関する相談件数は533件で、前年同期より220件（70.3%）増加しています。

商品名別にみると、光ファイバーに関する相談の311件（相談件数の58.3%）が最も多くなりました。大手電話会社が提供する光回線をインターネット接続事業者（ISP）に卸売りする「光卸サービス」に関する相談が増加の一途をたどっています。

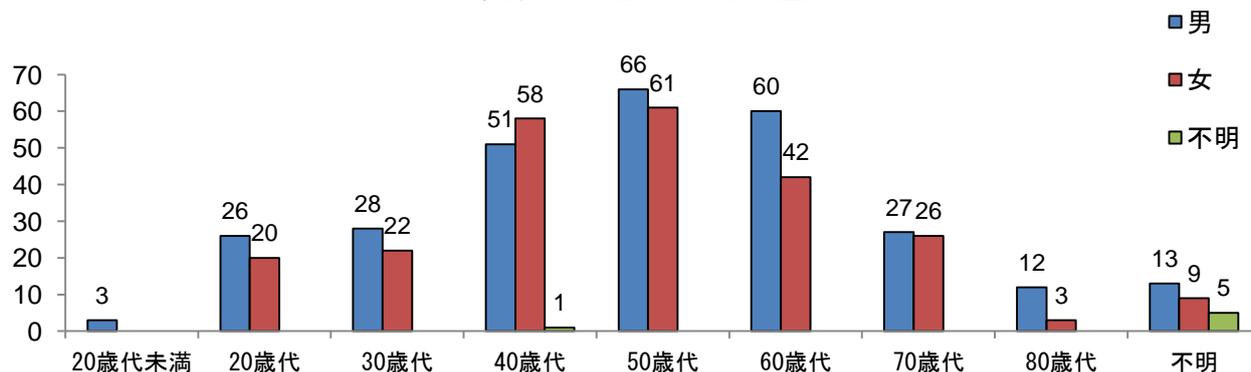
（単位：件）

商品名	平成27年 4-12月	平成26年 4-12月	増減
光ファイバー	311	105	206 (196.2%)
インターネット接続回線	180	187	▲7 (▲3.7%)
他のネット通信関連サービス	24	9	15 (166.7%)
その他	18	12	6 (50.0%)
計	533	313	220 (70.3%)

イ 契約当事者の年代および性別

平成27年4-12月におけるインターネット通信サービスの契約当事者を年代・性別でみると、50歳代男性の66件が最も多く、次いで50歳代女性61件となっています。男女別では男性286件、女性241件で、男性の割合がやや高くなっています。

〔契約当事者の年代・性別〕



(3) 危害・危険相談受付状況

ア 相談受付状況

平成27年4-12月における危害相談は43件、危険相談は32件でいずれも前年度より増加しています。

区分 \ 年度	平成27年度 4-12月	平成26年度 4-12月	増減
危害相談	43	39	4(10.3%)
危険相談	32	18	14(77.8%)
計	75	57	18(31.6%)

※危害＝商品・役務・設備に関連して、身体にけが、病気等の疾病（危害）を受けたという相談。
危険＝危害を受けたわけではないが、その恐れがある相談。

イ 商品別相談受付状況

平成27年4-12月における危害・危険相談を商品・役務別にみると、危害相談では食料品、保健・福祉サービスに関する相談の15件（相談件数の25.9%）が最も多く、『健康食品を食べたところ健康被害が発生した』、『温泉施設でマッサージを受けたところ肋骨にひびが入った』などという相談が寄せられました。

危険相談では、食料品に関する相談の13件（相談件数の40.6%）が最も多く、寄せられた相談のすべてが異物混入に関するものでした。次いで多いのが住居品に関する相談6件（相談件数の18.8%）で、カセットボンベからのガス漏れによる引火など重大事故につながるような危険な事例が複数ありました。

(単位：件)

危害			危険		
	商品・役務名	平成27年度 4-12月		商品・役務名	平成27年度 4-12月
1	食料品	15	1	食料品	13
	保健・福祉サービス	15	2	住居品	6
3	保健衛生品	4	3	車両・乗り物	5
4	他の役務	3	4	保健衛生品	3
5	住居品	2	5	土地・建物・設備	2
	その他	19		その他	3
	計	58		計	32

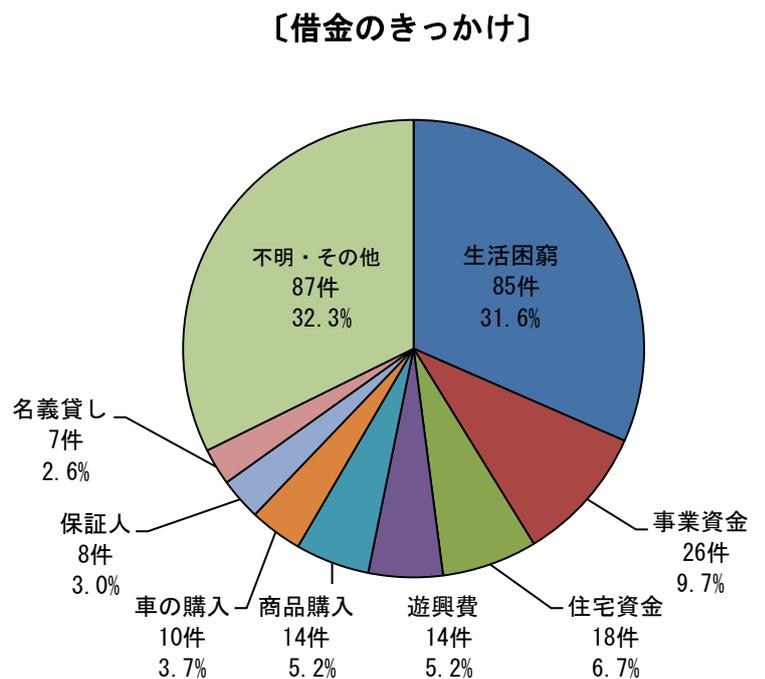
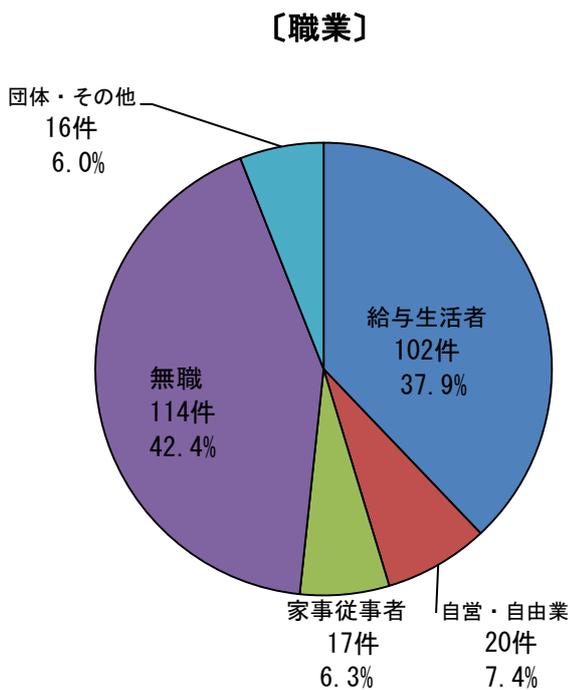
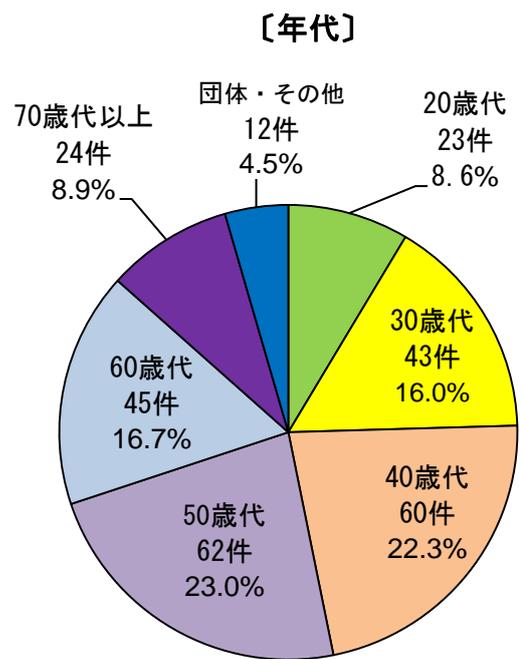
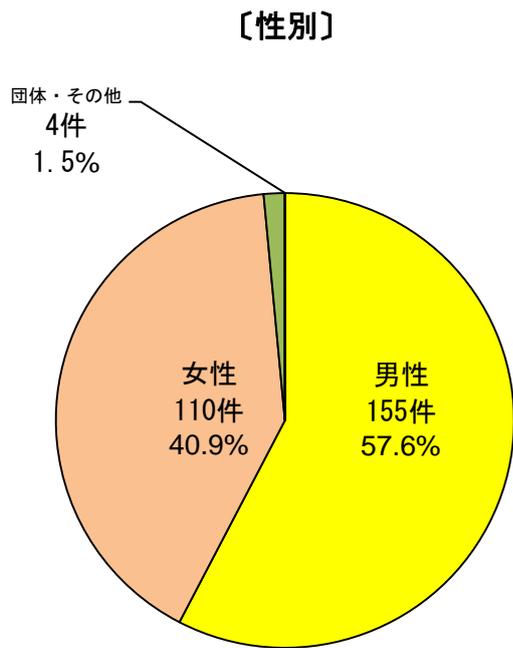
(4) 多重債務に関する相談の受付状況

ア 相談受付状況

平成27年4-12月における多重債務に関する相談件数は269件で、前年同期より5件（1.8%）減少しています。

(単位：件)

区分 \ 年度	平成27年 4-12月	平成26年 4-12月	増減
相談受付件数	269	274	▲5 (▲1.8%)



イ ヤミ金などの相談

平成27年4-12月におけるヤミ金などに関する相談件数は35件で、前年同期55件より20件(▲36.4%)減少しています。(単位:件)

	平成27年 4-12月	平成26年 4-12月	増減
ヤミ金	35	55	▲20 (▲36.4%)
融資保証金詐欺	2	6	▲4 (▲66.7%)
借金整理屋	5	0	5 (—)
ショッピング枠現金化	1	3	▲2 (▲66.7%)